

国際奉仕委員会

委員長 有 友 理 裕

副委員長 住 谷 幸 伸

委 員 遠 藤 直 樹 低 田 陽 介

梶 原 一 正

1 はじめに

前年に住谷委員長のご尽力でボンロータリークラブとの青少年交流が開始し、その成果を踏まえて、鈴木会長、住谷委員長においてボンロータリークラブとの協定締結に至り、今年度から3年間青少年交換を行う。この協定を地区の承認を受けるなどして、より安全かつ充実した青少年交流とするよう活動する予定である。

2 活動計画

- ① 協定書に基づき2週間から3週間の相互クラブ派遣の青少年の受け入れを行う予定である。

具体的には、秋にボンロータリークラブからの青少年の受け入れを行う予定である。他方で、冬以降に高松西ロータリークラブから青少年の派遣を行う予定である。

高松西ロータリークラブからの派遣についてはどのような選考で人選等をするかを含めて開始一年目として協議していく必要がある。

- ② ボンロータリークラブからの受入については、高松西ロータリークラブが責任をもって行う必要がある。

学校、地域との連携も相互にクラブ間で有用性を確認しており、より充実した受入となるよう会員の皆様、ご家族、ご友人を含めたご協力をお願いしたい。

また、ホストファミリーのサポート担当者、緊急対応の責任者、カウンセラーなどの担当者を決めて、ロータリークラブとしての責任ある体制で行う必要がある。

- ③ 高松西ロータリークラブの派遣においても、派遣した青少年の安全をクラブとしても確保する必要があり、その体制を整えたい。